

*Pioneer*

8.0 型ワイド液晶TVパック

# TV-W8800

取扱説明書

**carrozeria**

目次 4 ページ

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



規定容量の  
ヒューズを



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 上手にお使いいただくために 6
- システムによる操作の違いについて 7
- 各部のなまえと主な働きを知る  
(TVモニター) 8
- 各部のなまえと主な働きを知る  
(リモコン) 10

## 映像や音声を切り換える

- 見たい映像を表示させる 12
- 内蔵スピーカーから出力される  
音声を選ぶ 14
- 2画面で見る 16
- ワイド画面の拡大のしかたを  
変える 18

## テレビを見る

- チャンネルを選ぶ・  
音量を調整する 20
- チャンネルを確認する 22
- 自動的に複数のチャンネルを  
記憶させる 23
- 記憶されていない  
チャンネルを見る 24
- 見たいバンドを選ぶ 25

## 映像や音声を調整する

- 設定画面の基本的な操作 26
- 映像の黒の濃さやコントラスト  
を調整する 28
- 映像の色の濃さや色あいを  
調整する 29
- 液晶画面の明るさを調整する 30
- 音声をFM付きカーステレオで聞く 31
- FMトランスミッターの  
レベルを調整する 32
- ビデオを見られるようにする  
カーステレオのスピーカーで  
聞く音声を選ぶ 34
- ビデオなどの音声に音声案内を  
重ねる 35
- 音声案内が  
よく聞こえるようにする 36
- 音声多重放送の副音声を聞く 37
- チャンネルの記憶を変更する 38
- リアモニターを組み合わせる 39
- リアモニターに映像を表示する 40

# C O N T E N T S

## 付録

TVモニターの正しい使いかた	41
故障かな？と思ったら	42
リセットについて	44
保証書とアフターサービス	45
仕様	46

はじめに

映像や音声を切り換える

テレビを見る

映像や音声を調整する

付録

## メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

# 上手にお使いいただくために

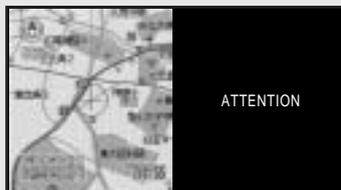
## 安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。また、走行中に各種設定・調整はできません。(走行中は次のようなメッセージが画面に表示されます。)  
安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

例：テレビを見ようとしたとき



例：テレビとDVDナビゲーションの2画面表示



## 画面が見えにくいときは、[ 黒の濃さ ] や [ 明るさ ] を調整してください

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。ただし、映像の[ 黒の濃さ ] を調整することにより、映像がきれいに見える角度(上下左右方向)を変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて[ 黒の濃さ ] を調整してください。また、液晶画面自体の[ 明るさ ] も変更できますので、お好みに応じて調整してください。(☞「映像の黒の濃さやコントラストを調整する」28ページ、「液晶画面の明るさを調整する」30ページ)

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

## 携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときに、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

## TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。(その他、気を付けていただきたいこと ☞「TVモニターの正しい使いかた」41ページ)

# システムによる操作の違いについて

## 組み合わせた製品によって一部の操作が異なります

本機の機能と操作方法は、DVDナビゲーションを組み合わせた場合と、組み合わせていない場合で、一部異なります。

### DVDあり

このマークの付いている部分は、下記のDVDナビゲーションを組み合わせた場合にお読みください。

- ・ AVIC-D9000、AVIC-D7000、AVIC-D9100

### DVDなし

このマークの付いている部分は、DVDナビゲーションを組み合わせていない場合、または下記のCD-ROMナビゲーションと組み合わせている場合にお読みください。

- ・ AVIC-505、AVIC-515
- ・ TV単独

本書では、DVDナビゲーションを組み合わせた場合を例にして、説明を行っています。DVDナビゲーションを組み合わせていないときは、マークの付いた部分が異なります。

### DVDあり

## DVDナビゲーションを組み合わせたお客様へ

DVDナビゲーションが本機をコントロールします。このため、DVDナビゲーションシステムの電源が入っていないときは、本機は動作しません(テレビも見れません)。本機をお使いになるときは、DVDナビゲーションの電源を入れてください。(☞ DVDナビゲーションの説明書)

本機のいくつかの機能は、DVDナビゲーションに付属のリモコンでも操作することができます。DVDナビゲーション「AVIC-D9000」「AVIC-D7000」「AVIC-D9100」のリモコンで本機を操作する場合は、必ずリモコン設定スイッチの位置をご確認ください。設定を間違えると正しく動作しません。(☞ DVDナビゲーションの説明書)

「AVIC-D7000」と組み合わせた場合のみ、ピクチャー サイド ピクチャー機能が使えません。(☞ 16ページ)

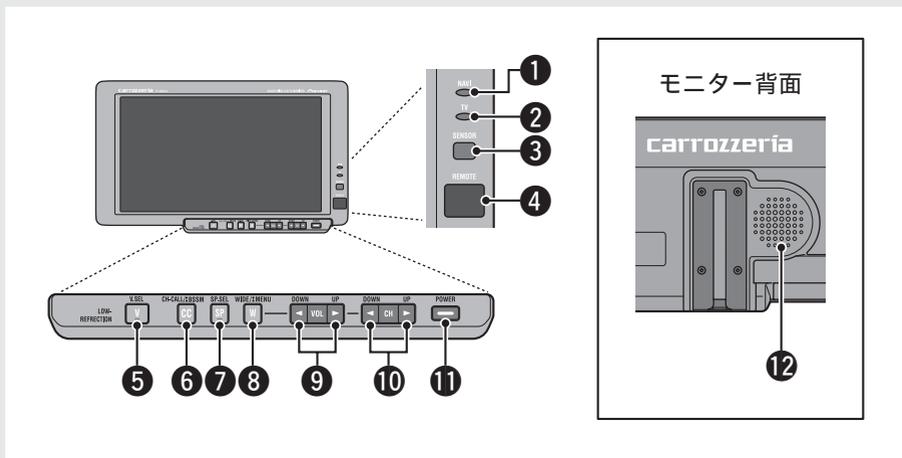
### DVDなし

## DVDナビゲーションを組み合わせていないお客様へ

本機のRCA映像入力(☞『取付説明書』)に接続したナビゲーションシステムは、“ビデオ”(画面上は“VTR”)として扱われます。

# 各部のなまえと主な働きを知る

## TV モニター



### **DVDあり** **DVDなし** 共通

- ③ 外光センサー  
周囲の明るさを感知します。本機では、周囲の明るさに合わせて、自動的に液晶画面の明るさを調整します。
- ④ リモコン受光部  
リモコンはここに向けて操作します。  
チャンネル コール
- ⑥ CH CALL ボタン および  
ベストステーションズシーケンシャルメモリー  
BSSM ボタン (P. 22、23 ページ)  
受信中のチャンネルを表示します。  
2回続けて押すと、記憶されているチャンネルの一覧表示になります。また、2秒以上押すと、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。  
スピーカー セレクト
- ⑦ SP. SEL ボタン (P. 14 ページ)  
内蔵スピーカー (12) から出力される音声を切り換えます。

- ワイド
- ⑧ WIDE ボタン および  
メニュー  
MENU ボタン (P. 18、26 ページ)  
4 : 3 の映像を 16 : 9 の映像に拡大するときの方法を切り換えます。  
また、2秒以上押すと、設定メニューが表示されます。設定メニューを表示したあとは、押すごとにメニュー内容が切り換わります。

- ボリューム
- ⑨ VOL (◀/▶) ボタン (P. 20、26 ページ)  
内蔵スピーカー (12) の音量を調整します。また、設定メニューが表示されているときは、設定項目を切り換えます。

- チャンネル
- ⑩ CH (◀/▶) ボタン (P. 20、24、26 ページ)  
テレビのチャンネルを切り換えます。また、設定メニューが表示されているときは、設定値を変更できます。

- ⑫ 内蔵スピーカー  
テレビの音声やDVDナビゲーションの音声案内が出力されます。

# (TV モニター)

## DVDあり

- ① DVDナビゲーションの電源ランプ  
DVDナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。
- ② 映像のON/OFFランプ  
映像がONのとき(映像が映っているとき)に、赤く点灯します。

パワー

- ① POWER ボタン (P. 12ページ)  
映像だけをON/OFFします。(OFFにすると、音声は出力されますが、画面には何も映らなくなります。)

ビジュアル セレクト

- ⑤ V.SEL ボタン (P. 12、20ページ)  
表示される映像を切り換えます。

## DVDなし

- ② 本機の電源ランプ  
本機の電源が入っているときに、赤く点灯します。

パワー

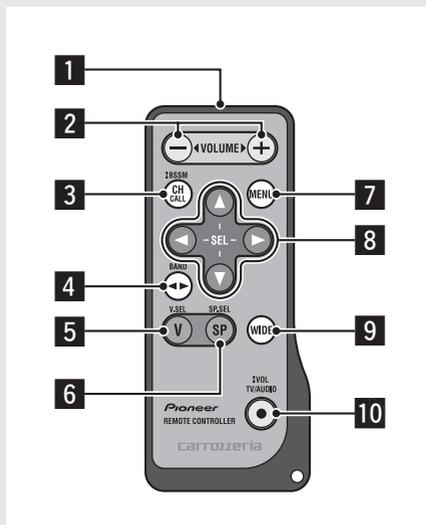
- ① POWER ボタン (P. 12ページ)  
本機の電源を入/切します。

ビジュアル セレクト

- ⑤ V.SEL (P. 12、20ページ)  
ビデオを接続したときに、表示される映像を切り換えます。

# 各部のなまえと主な働きを知る

## リモコン



### DVDあり DVDなし 共通

- 1** リモコン送信部  
ここをTVモニターのリモコン受光部 (P. 8ページ 4) に向けて操作します。

#### ボリューム

- 2** VOLUME ボタン (P. 20ページ)  
内蔵スピーカー (P. 8ページ 12) の音量を調整します。  
また、動作モード切り換えボタン (10) の設定によって、パイオニア製カーステレオの音量を調整することもできます。

#### チャンネルコール

- 3** CH CALL ボタン および  
ベストステーションズシーケンシャルメモリー  
BSSM ボタン (P. 22、23ページ)  
受信中のチャンネルを表示します。  
2回続けて押すと、記憶されているチャンネルの一覧表示になります。  
また、2秒以上押すと、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。

#### スピーカーセレクト

- 6** SP.SEL ボタン (P. 14ページ)  
内蔵スピーカー (P. 8ページ 12) から出力される音声を切り換えます。

#### メニュー

- 7** MENU ボタン (P. 26ページ)  
設定メニューを切り換えます。

#### セレクト

- 8** SEL (▲/▼/◀/▶) ボタン (P. 20、26ページ)  
テレビのチャンネルを切り換えます。  
また、設定メニューが表示されているときは、設定項目を切り換えたり、設定値を変更できます。

#### ワイド

- 9** WIDE ボタン (P. 18ページ)  
4:3の映像を16:9の映像に拡大するときの方法を切り換えます。

- 10** 動作モード切り換えボタン

パイオニア製のカーステレオを組み合わせた場合、VOLUME ボタン (2) と BAND ボタン (4) でカーステレオの操作ができるように設定できます。  
2秒以上押すごとに、本機とカーステレオのモードが切り換わります。

本機のモード

#### カーステレオのモード

カーステレオのモードにしたときは、VOLUME ボタン (2) はカーステレオの音量調整ボタン、BAND ボタン (4) はカーステレオのBANDボタンとして働きます。(本機の操作はできません。)

カーステレオのモードでお使いのときに、リモコンの電池を交換した場合は、本機のモードになることがあります。そのときはもう一度切り換えてください。

# (リモコン)

## DVDあり

バンド

- 4 BAND ボタン (P. 26ページ)  
設定メニューが表示されているときに押すと、設定メニューが消えます。  
また、動作モード切り換えボタン (10) の設定によって、パイオニア製カーステレオのBAND ボタンとして使用することもできます。

ビジュアル セレクト

- 5 V.SEL ボタン (P. 12、20ページ)  
表示される映像を切り換えます。

## DVDなし

バンド

- 4 BAND ボタン (P. 25、26ページ)  
テレビのバンドを切り換えます。  
設定メニューが表示されているときに押すと、設定メニューが消えます。  
また、動作モード切り換えボタン (10) の設定によって、パイオニア製カーステレオのBAND ボタンとして使用することもできます。

ビジュアル セレクト

- 5 V.SEL ボタン (P. 12、20ページ)  
ビデオを接続したときに、表示される映像を切り換えます。

## 電池の入れかた

リモコンを裏返して電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2032) を、⊕側を上にしてセットします。



リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

## 電池の取り扱いに関するご注意

付属の電池は充電できません。

リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各自治体の指示 (条例) にしたがって処理してください。

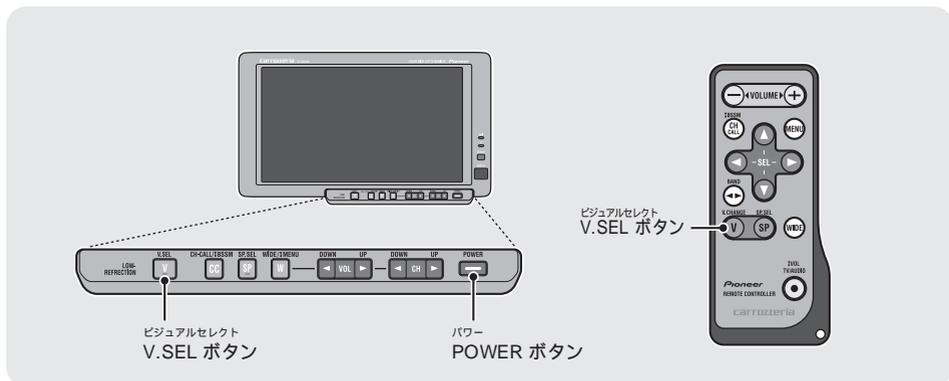
## リモコンの取り扱いに関するご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

TV モニターのリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

# 見たい映像を表示させる

電源を入れて、見たい映像をワイド画面で楽しんでみましょう。



## DVDありの場合

### 1 車のエンジンをかける



### 2 DVDナビゲーションの電源を入れる

(※ DVDナビゲーションの説明書)  
DVDナビゲーションに電源が入ると、自動的に本機にも電源が入ります。DVDナビゲーションの電源を切ると、本機の電源も切れます。

### 映像だけをON/OFFするには

TV モニターのPOWER ボタンを押すボタンを押すごとに、映像だけをON/OFFすることができます。

OFFにすると、画面には何も表示されずに、音声だけが出力されます。

### 3 見たい映像に切り換える

V.SEL ボタンを押すボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。



[ NAVI ] DVDナビゲーションの映像

[ VTR ] ビデオの映像  
(ビデオの表示をONにした場合のみ)

[ TV ] テレビの映像

[ NAVI ] に戻る

設定MENUで [ VTR設定 ] (ビデオの表示) を「ON」にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。(※ 33ページ)

## DVDなしの場合

## 1 車のエンジンをかける

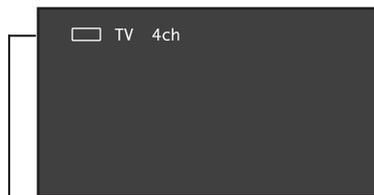


## 2 本機の電源を入れる

TV モニターのPOWER ボタンを押すボタンを押すごとに本機の電源が入/切します。

## 3 見たい映像に切り換える

V.SEL ボタンを押すボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。



[TV] テレビの映像

[VTR] ビデオの映像  
(ビデオの表示をONにした場合のみ)

[TV] に戻る

設定MENUで[VTR設定](ビデオの表示)を「ON」にしていない場合は、映像の切り換えはできません。(P.33 ページ)

## RCA 映像入力にナビゲーションを接続した場合は

TV チューナーのRCA 映像入力 (取付説明書) にナビゲーションを接続した場合は、ビデオの映像として扱われます。

ナビゲーションの映像を見るときは、ナビゲーションの電源を入れ、本機の映像を“VTR”にしてください。

## RCA 音声入力にナビゲーションを接続した場合は

TV チューナーのRCA 音声入力 (取付説明書) にナビゲーションを接続した場合は、ビデオの音声として扱われます。

ナビゲーションの音声を聞くとときは、ナビゲーションの電源を入れ、本機の音声を“VTR”にしてください。

ナビゲーションの音声案内を、テレビの音声に重ねて出力させることはできません。



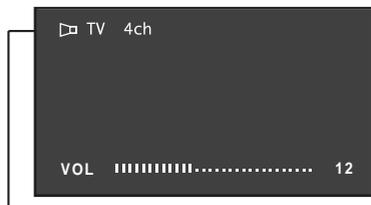
# 音声を選ぶ

## DVDなしの場合

### 1 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が決定的ように切り換わります。



[ OFF ] 音声は出力されません。

[ TV ] テレビの音声

[ VTR ] ビデオの音声

(VTR設定をONにした場合のみ)

[ OFF ] に戻る

### “GUIDE”が表示されたときは

“GUIDE”はDVDナビゲーションの音声案内を出力するための設定です。DVDナビゲーションを組み合わせていないときは、音声案内は出力されません。

“GUIDE”が表示されたままお使いいただいても支障ありませんが、表示を消したいときは、次の操作を行ってください。

方法1：設定メニューで設定する

(☞ 35ページ)

方法2：SP.SEL ボタンを2秒以上押す  
ボタンを2秒以上押すごとに、“GUIDE”の表示/非表示が切り換わります。

設定MENUで [VTR設定] (ビデオの表示) を「ON」にしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。(☞ 33ページ)

## カーステレオのスピーカーで音声を聞くこともできます

テレビやビデオの音声は、カーステレオのスピーカーで聞くこともできます(☞ 34ページ)。最初に、お使いの状況に合わせて、カーステレオから出力する方法を選んでください。

方法1：FMトランスミッター機能を使う  
音声をFM電波で飛ばし、その電波をFM付きカーステレオで受信して、聞くことができます。必ず、FMトランスミッターの設定を行ってください。(☞ 31ページ)

方法2：パイオニア製カーステレオのAUXソースで聞く

パイオニア製のIP-BUS入力付きカーステレオをお使いの場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。(接続のしかたは ☞ 『取付説明書』)

この場合は、カーステレオをAUX(外部入力)ソースにすると、本機の音声出力されます。

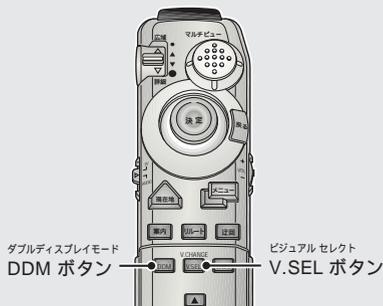
携帯電話のハンズフリー通話時の相手の音声はカーステレオのスピーカーからは出力されません。(TVモニターの内蔵スピーカーからのみ出力されます。)

ハンズフリー通話をするときは、TVモニターの内蔵スピーカーから、音声案内が出力される設定でお使いください。

音声案内が出力されない設定でないと、ハンズフリー通話時の相手の音声はTVモニターの内蔵スピーカーから出力されません。

## 2画面で見る

画面を2分割して、DVDナビゲーションとテレビの映像を同時に見ることができます。また、左右の映像の組み合わせを変えることもできます。



DVDナビゲーションのリモコン

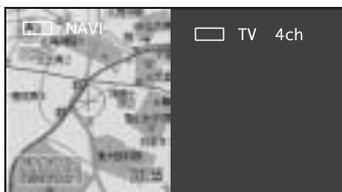
### DVDありの場合

#### 1 2画面モードに切り換える

DDM ボタンを押す  
(DVDナビゲーションのリモコン)  
ボタンを押すごとに、2画面モードが次のように切り換わります。

1画面 (通常の画面)

ピクチャー サイド ピクチャー



1画面に戻る

#### 2 左右の画面を入れ換える

V.SEL ボタンを押す  
(DVDナビゲーションのリモコン)  
2画面モードのときは、ボタンを押すごとに、左右の画面が入れ換わります。



## メモ

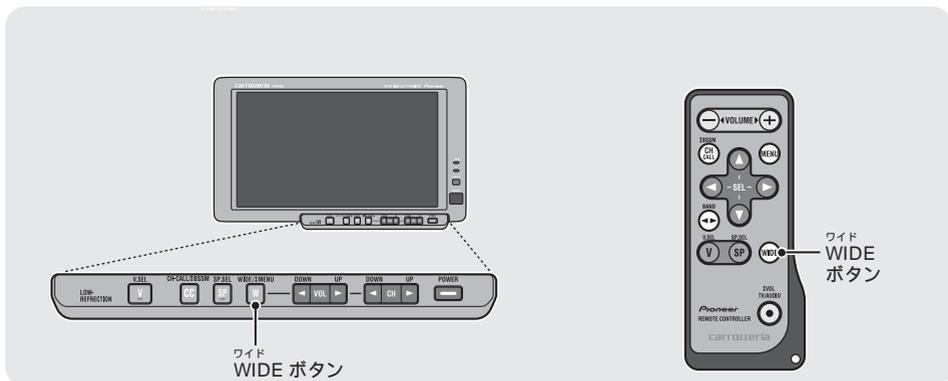
2画面とも同じ映像にすることはできません。ビデオとDVDナビゲーションおよびビデオとテレビの、2画面表示はできません。

ピクチャー サイド ピクチャーでは、DVDナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にDVDナビゲーションの映像だけになる(1画面になる)ことがあります。(詳しくは  DVDナビゲーションの説明書)

AVIC-D7000と組み合わせた場合、ピクチャー サイド ピクチャー表示はできません。

# ワイド画面の拡大のしかたを変える

通常の映像(縦横比 4:3)を、ワイド映像(縦横比 16:9)に拡大する方法を選ぶことができます。ニュース番組や映画など、ご覧になる映像に合わせて切り換えてください。



## DVDあり

DVDナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り換えはできません。

**1** テレビかビデオの映像を1画面で表示させる (☞ 12、16ページ)

**2** ワイドモードを切り換える

WIDE ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ワイドモードが次のように切り換わります。各モードについては、「ワイドモードの種類」(☞ 次ページ)をご覧ください。



- [フル]
- [ジャスト]
- [シネマ]
- [ズーム]
- [ノーマル]
- [フル]に戻る

## メモ

テレビとビデオの映像で、設定内容が別々に記憶されます。

テレビやビデオ1画面のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。設定MENU (☞ 26ページ)を表示しているときは、常にフルになります。

通常のテレビ放送の番組をズーム、ノーマル以外で見ると、映像の縦横比がもとの画面と異なるため、本来の映像とは見えかたに差が出ます。

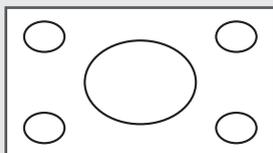
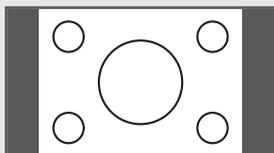
営利的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## ワイドモードの種類

### フル

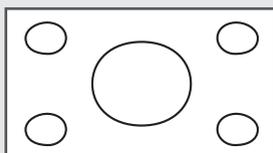
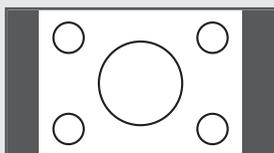
4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。

映像が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。



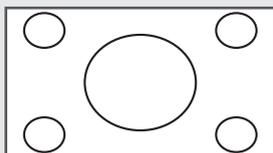
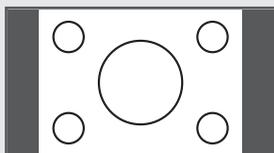
### ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



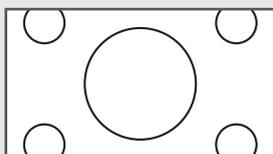
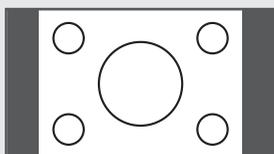
### シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



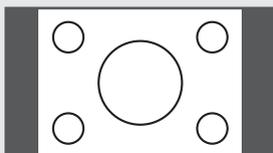
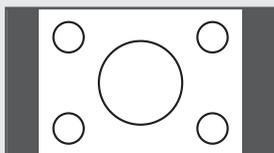
### ズーム

4 : 3 の映像を、上下・左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



### ノーマル

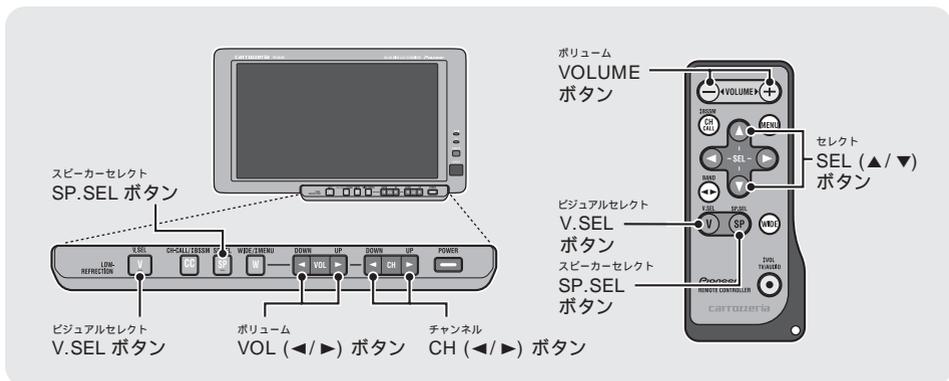
4 : 3 の映像を拡大せずにそのまま表示します。テレビを通常と同じ映像でお楽しみいただけます。



「シネマ」「ズーム」で映像を見ると、画質が粗くなります。

# チャンネルを選ぶ・音量を調整する

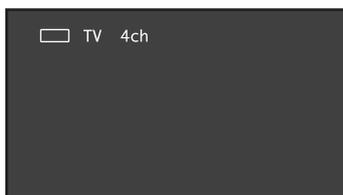
ここではテレビを見るときに基本的な操作を説明します。



## 1 テレビの映像とテレビの音声にする

映像を切り換える場合  
V.SEL ボタンを押す (P.12 ページ)

音声を切り換える場合  
SP.SEL ボタンを押す (P.14 ページ)



テレビの映像にすると、約8秒間、受信チャンネルが表示されます。

## 2 見たいチャンネルを選ぶ

CH (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)  
▶ : チャンネルを大きくするとき  
◀ : チャンネルを小さくするとき

SEL (▲/▼) ボタンを押す (リモコン)  
▲ : チャンネルを大きくするとき  
▼ : チャンネルを小さくするとき

記憶されているチャンネルが切り換わります。  
(あらかじめ、VHF 1 ~ 12 ch が記憶されています。)



記憶番号 : 1 ~ 12 まであります。

受信チャンネル :  
モノラル放送のときは緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると黄色、音声多重放送 (P.37 ページ) を受信すると赤色になります。

記憶内容を変更するには (P.23、38 ページ)

### 3 スピーカーの音量を調整する

VOL (◀/▶) ボタンを押す (TV モニター)

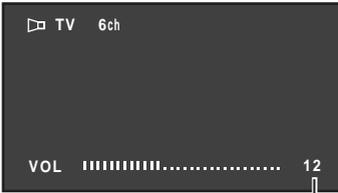
▶ : 大きくするとき

◀ : 小さくするとき

VOLUME ボタンを押す (リモコン)

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



内蔵スピーカーの音量は、0～30の範囲で調整できます。(約4秒間、音量が表示されます。)

### テレビの音声をカーステレオのスピーカーで聞くとときは

テレビの音声は、カーステレオのスピーカーから出力することもできます。

FM トランスミッター機能をお使いになる場合は、FM トランスミッターの設定を行ってください。(P.31ページ)

パイオニア製のカーステレオと組み合わせ、IP-BUS ケーブルを使用して本機と接続した場合は、カーステレオをAUX (外部入力) ソースにしてください。

カーステレオのスピーカーから出力される音声は切り換えることができます。テレビの音声出力されないときは、設定を確認してください。(P.34ページ)

カーステレオの音量を調整してください。(本機のリモコンでパイオニア製カーステレオの音量を調整することもできます。)(P.10ページ)

## メモ

ご自分の好きなように、チャンネルの記憶内容を変更することができます。(P.38ページ)

テレビ以外の映像や音声のときでも、テレビの各操作を行うことができます。

電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れる場合があります。

トンネル内や山かげ、ビル谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。

### DVDなし

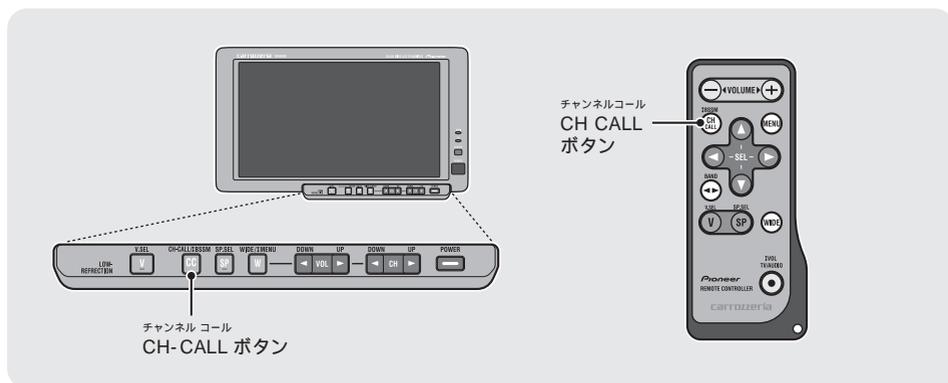
より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2の2つのバンドに分かれています(P.25ページ)。必要に応じて使い分けてください。(受信できるチャンネルはどちらも1～62chです。)

あらかじめ、VHF 1～12chが記憶されているのは、TV1のバンドだけです。

# チャンネルを確認する

チャンネルコール

受信中のチャンネルを表示させることができます。



## 1 現在のチャンネルを確認する

CH CALL ボタンを押す

現在受信中のチャンネル番号が表示されます。



チャンネル表示・大(約3秒) 中(約1秒)  
小(約2秒)の順に切り換わり、6秒ほどすると、チャンネル表示が消えます。

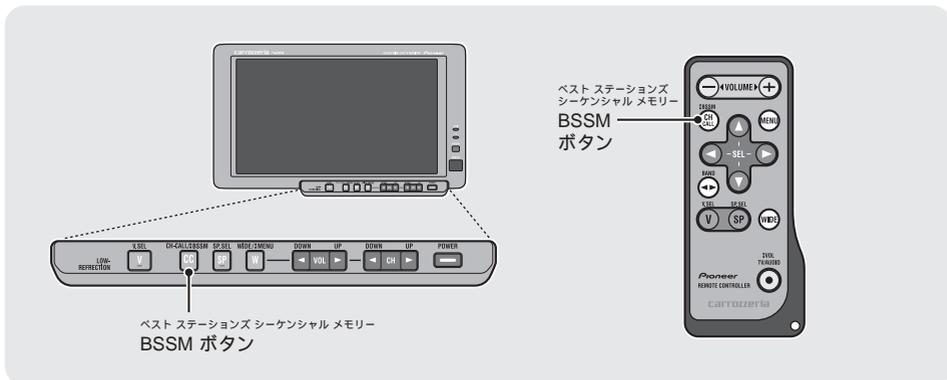
## メモ

CH CALL ボタンを2回続けて押すと、記憶されているチャンネルを一覧表示します。

# 自動的に複数のチャンネルを記憶させる

BSSM

受信状態の良いチャンネルを探して、チャンネルの小さい順に記憶させることができます。(一度に12局を記憶します。)

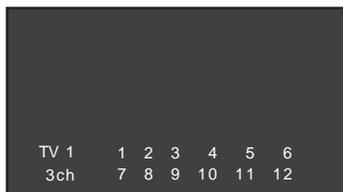


## 1 記憶動作を開始する

BSSM ボタンを2秒以上押す  
次の画面が表示され、記憶動作が始まります。



記憶動作が終わると、記憶したチャンネルが一覧表示されます。



## メモ

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

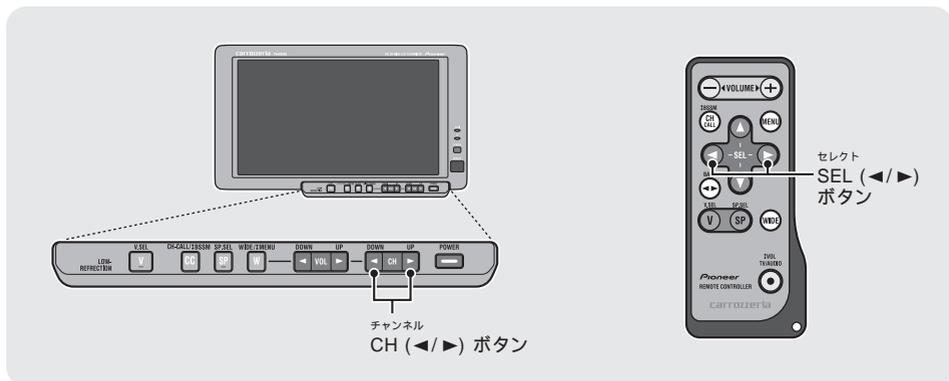
記憶動作を途中で解除したいときは、BSSM ボタンを2秒以上押します。

受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合、前に記憶させたチャンネルが最後のほうに残ることがあります。

# 記憶されていないチャンネルを見る

自動選局 / 手動選局

記憶されていないチャンネルでも、受信状態の良いチャンネルは自動的に選局することができます。また、電波が弱いために自動選局できないチャンネルは、手動で選局することができます。



リモコンで操作する場合は、手順1の選局モードを切り換える操作は必要ありません。手順2の操作だけで、選局できます。

## 1 TVモニターで操作する場合は選局モードを切り換える

CHボタンの◀と▶を同時に押す(TVモニター)ボタンを同時に押すごとに、選局モードが切り換わります。

**PRESET**：プリセット選局モード  
記憶番号で選局するモードです。ふだんはこのモードにしておきます。

表示なし：自動選局 / 手動選局モード  
記憶されていないチャンネルを選局したいときは、このモードにします。

プリセット選局モードに戻る

## メモ

CHボタンの◀と▶を同時に押すときは、CHボタンの中央を親指で押すようにすると、うまく押すことができます。

## 2 チャンネルを選局する

CH (◀/▶) ボタンを押す (TVモニター)  
SEL (◀/▶) ボタンを押す (リモコン)

- ▶：チャンネルを大きくするとき
- ◀：チャンネルを小さくするとき



ボタンを押す長さによって、次のように選局方法を使い分けることができます。

選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

# 見たいバンドを選ぶ

## バンド切り換え

チャンネルを、TV1とTV2の2つのバンドに分けて記憶させておくことができます。旅行や出張のときなど、移動先の地域によってバンドを切り換えて記憶させると便利です。



### DVDありの場合

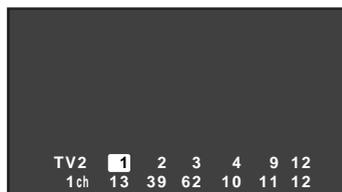
この機能は操作できません。(TV2に切り換えることはできません。)

DVDナビゲーションと組み合わせたときは、DVDナビゲーションの機能を利用したエリア選局をお使いになれます。現在自分がいる地域によってその地域に合ったチャンネルを選局できるので、チャンネルを記憶させていなくても、簡単な選局操作が可能です。(DVDナビゲーションの説明書)

### DVDなしの場合

## 1 バンドを切り換える

BAND ボタンを押す (リモコン)  
ボタンを押すごとに、TV1とTV2が切り換わります。



## メモ

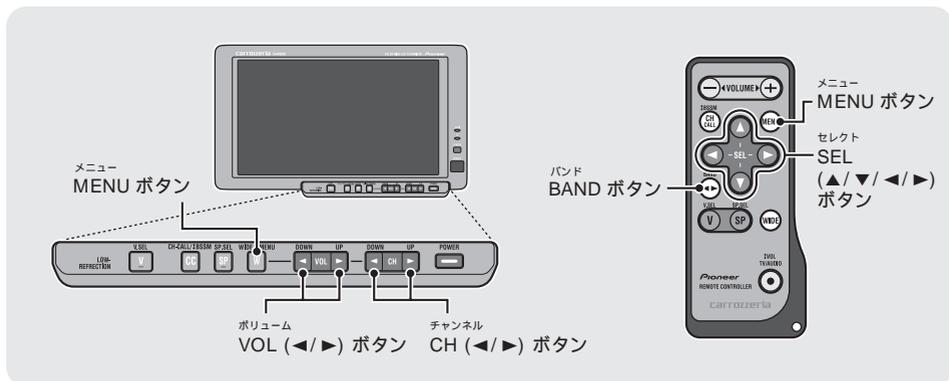
TV1、TV2とも、1～62 chまで受信できます。

TV1には、あらかじめVHF 1～12 chが記憶されています。

ふだんお使いになっている地域のチャンネルはTV1に記憶させておきます。旅行や出張などで、受信できるチャンネルが異なる地域に移動したときに、TV2に切り換えてからチャンネルを自動で記憶させます。ふだん利用しているチャンネルの記憶はTV1に残っていますので、大変便利です。

# 設定画面の基本的な操作

本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。お使いの環境や好みに合わせて、設定を変更してください。



## 1 設定画面を表示する

MENU ボタンを2秒以上押す(TVモニター)  
MENU ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が表示されます。



## 2 設定画面を選ぶ

MENU ボタンを押す  
ボタンを押すごとに設定画面が切り換わります。  
設定画面は、

- ① [画質調整] 映像や画面の見えかたを調整します。
- ② [FMトランスミッター] 音声をFM電波で飛ばして、カーステレオのスピーカーで聞くときに使います。
- ③ [入出力設定] ビデオ入力の入力ON/OFFや、カーステレオのスピーカーから出力される音声出力を選びます。
- ④ [モニターSP音声設定] DVDナビゲーションの音声案内とテレビ、ビデオの音声を重ねて聞くときに使います。
- ⑤ [音声多重] 2か国語放送の音声を選びます。
- ⑥ [プリセットメモリー] チャンネルの記憶内容を変更します。
- ⑦ 設定画面の解除 設定画面が消えます。

の順に切り換わります。

### 3 項目を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

▶ : 上の項目を選択するとき

◀ : 下の項目を選択するとき

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)

▲ : 上の項目を選択するとき

▼ : 下の項目を選択するとき



### 4 設定を変更する

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

▶ : 値を大きくするとき

◀ : 値を小さくするとき



### 5 設定を続ける / 終了する

他の設定を続ける場合

MENUボタンを押す

次の設定画面が表示されます。

設定を終了する場合

BANDボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。(MENUボタンを繰り返し押して設定画面を消しても、設定終了です。)

# 映像の黒の濃さやコントラストを調整する

黒の濃さ / コントラスト

映像の黒の濃さ、コントラスト（明暗）を変更できます。外光センサーで周囲の明るさを感じ、明るいとき（昼間）と暗いとき（夜間）で、別々に設定できます。周囲の明るさの変化にともない、この設定が自動的に切り換わります。

## 1 調整したい映像を表示させる

V.SEL ボタンを押す

## 2 設定画面を表示させる

MENU ボタンを2秒以上押す(TVモニター)

MENU ボタンを押す(リモコン)

[画質調整]画面が表示されます。[黒の濃さ]が選択されています。



## 4 設定を調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す(TVモニター)  
SEL (◀/▶) ボタンを押す(リモコン)

それぞれ -24 ~ +24 の範囲で調整できます。



TVモニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感じ、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

- ☾(青)：暗いとき(夜間)
- \* (黄)：明るいとき(昼間)

## 3 調整したい項目を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL (▲/▼) ボタンを押す(リモコン)



## 5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

### メモ

調整項目	-側(◀)	+側(▶)
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト(明暗)	白黒の差が小さくなる(暗くなる)	白黒の差が大きくなる(明るくなる)

[黒の濃さ]と[コントラスト]の設定内容は、周囲が明るいとき(昼間)と暗いとき(夜間)で別々に記憶されます。

ナビゲーション、テレビ、ビデオで設定した内容が、別々に記憶されます。

# 映像の色の濃さや色あいを調整する

色の濃さ / 色あい

お好みに合わせて、映像の色の濃さや色あいを変更できます。テレビとビデオの映像で設定内容が別々に記憶されます。

## 1 テレビまたはビデオの調整したい映像を表示させる

V.SEL ボタンを押す

**DVDあり**

ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。

## 2 設定画面を表示させる

MENU ボタンを2秒以上押す(TV モニター)  
MENU ボタンを押す(リモコン)

[画質調整] 画面が表示されます。[黒の濃さ] が選択されています。



## 3 調整したい項目を選ぶ

VOL (◀/▶) ボタンを押す(TV モニター)  
SEL (▲/▼) ボタンを押す(リモコン)



## 4 設定を調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す(TV モニター)  
SEL (◀/▶) ボタンを押す(リモコン)

それぞれ -24 ~ +24 の範囲で調整できます。



## 5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

映像や音声进行调整する

### メモ

調整項目	- 側 (◀)	+ 側 (▶)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤が強くなる	緑が強くなる

テレビ、ビデオそれぞれで設定の内容が別々に記憶されます。

# 液晶画面の明るさを調整する

明るさ

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまいます。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさが自動的に調整されます。(3点式インテリジェントディマー) その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

## 1 設定画面を表示させる

MENU ボタンを2秒以上押す(TVモニター)  
MENU ボタンを押す(リモコン)

[画質調整]画面が表示されます。[黒の濃さ]が選択されています。



## 2 [明るさ]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



モニター前面の外光センサーが、周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および位置で表します。



## メモ

[明るさ]を調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。[黒の濃さ]や[コントラスト]を調整するときのマークと異なる場合があります。

## 3 明るさを調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す(TVモニター)  
SEL (◀/▶) ボタンを押す(リモコン)  
周囲の明るさを示すマークごとに調整できます。

▶ : 明るくするとき

◀ : 暗くするとき



このレベルは調整している画面の明るさを表します。■(黄)が右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき(青)の画面の明るさの設定を調整しています。

現在の外光レベルに設定されている、画面の明るさが調整されます。

「暗い」「中間」「明るい」の、それぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

## 4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

[明るさ]の設定内容は、設定を終了するときに記憶されます。[明るさ]調整後、車のエンジンを切ったり電源をOFFにしたりするときは、設定を終了してから行ってください。

# 音声をFM付きカーステレオで聞く

## FMトランスミッターの設定

ナビゲーションやテレビ、ビデオの音声をFM電波にのせて出力し、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーから音声を聞くことができます。

### 1 設定画面を表示させる

(☞ 26ページ)

### 2 [FMトランスミッター]画面にする

MENU ボタンを1回押す  
[トランスミッター]が選択されています。



### 3 [トランスミッター]をONにする

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
[周波数]と[レベル]を調整できるようになります。



### 4 [周波数]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



### 5 出力させたい周波数を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
76.4 ~ 78.4 MHzの中から、0.1 MHzステップで選ぶことができます。

### 6 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

#### DVDあり

DVDナビゲーションの音声ソースを「テレビ」に切り換える。(☞ DVDナビゲーションの説明書)

### 7 カーステレオをFMに切り換え、手順5で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

入出力設定の[音声出力](☞ 34ページ)で選んだ音声出力が出力されます。音声出力されない場合は、[音声出力]の設定を確認してください。

## メモ

送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。

FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。

FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)

FMトランスミッターを使わないときは、必ず「OFF」にしてください。

# FMトランスミッターのレベルを調整する

FMトランスミッターのレベル調整

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違っていると感じた場合は、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

## 1 設定画面を表示させる

(P.26 ページ)

## 2 [FMトランスミッター]画面にする

MENU ボタンを1回押す

[トランスミッター]が選択されています。



## 3 [レベル]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



## 4 レベルを調整する

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

レベルは、-6 ~ +6の範囲で調整できます。FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを大きくしてください。

本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。

## 5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

# ビデオを見られるようにする

VTR設定

TVチューナーに接続したビデオを見るときは、次の手順でビデオを表示できるように設定を変更します。

## 1 設定画面を表示させる

( 26 ページ)

## 2 [入出力設定]画面にする

MENU ボタンを2回押す

[VTR設定]が選択されています。



## 3 [VTR設定]を「ON」にする

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[ON] ビデオの映像や音声に切り換わるようになります。

[OFF] ビデオの映像や音声には切り換わりません。

## 4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

# カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ

音声出力の設定

カーステレオのスピーカーから出力される音声を切り換えることができます。TVモニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

## DVDあり

1 DVDナビゲーションの操作モード  
切り換えスイッチを「TV」にする

(☞ DVDナビゲーションの説明書)

2 DVDナビゲーションのリモコンの  
[ SOURCE ] ボタンを押す

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力される設定になります。



「テレビ」と約8秒間表示されます。

この設定を行ってから次の手順3へすすみます。

## DVDなし

DVDなしの場合は手順3から始めます。

3 設定画面を表示させる

(☞ 28ページ)

4 [ 入出力設定 ] を表示させる

MENU ボタンを2回押す



5 [ 音声出力 ] を選択する

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



6 聞きたい音声を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す  
ボタンを押すごとに、TV、GUIDE、VTRが切り換わります。



音声出力を切り換えるごとに、カーステレオのスピーカーに出力される音声が切り換わります。

7 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

設定MENU・入出力設定の[ VTR設定 ]  
(☞ 33ページ) をONにしていない場合、音  
声は切り換わりません。

# ビデオなどの音声に音声案内を重ねる

内蔵スピーカーのガイドミキシングの設定

内蔵スピーカーから、テレビやビデオの音声とDVDナビゲーションの音声案内を重ねて出力させることができます(ガイドミキシングといいます)。

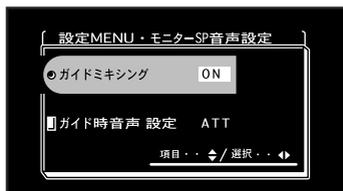
**DVDあり** の場合

## 1 設定画面を表示させる ( 26 ページ)

## 2 [モニターSP音声設定]画面にする

MENU ボタンを3回押す

[ガイドミキシング]が選択されています。



## 3 ガイドミキシングのON/OFFを選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[ON] 内蔵スピーカーから、テレビやビデオの音声とDVDナビゲーションの音声案内が重ねて出力されます。

[OFF] ガイドミキシングは行われません。

## 4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

# 音声案内がよく聞こえるようにする

内蔵スピーカーの音声案内 出力時の音声設定

テレビやビデオの音声にDVDナビゲーションの音声案内を重ねている場合、一時的にテレビやビデオの音量を小さくしたり、また消去して、音声案内を聞き取りやすくすることができます。

## DVDありの場合

### 1 設定画面を表示させる ( 26 ページ)

### 2 [モニター SP 音声設定] 画面にする

MENU ボタンを3回押す  
[ガイドミキシング] が選択されています。



### 3 [ガイド時音声設定] を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



### 4 好みの設定を選ぶ

- CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
[NORMAL] [ATT] [MUTE]の中から選ぶことができます。
- [NORMAL] 音声案内が流れている間も、テレビやビデオの音量は変わりません。
  - [ATT] 音声案内が流れるとき、テレビやビデオの音声が自動的に小さくなります。
  - [MUTE] 音声案内が流れるとき、テレビやビデオの音声が自動的に聞こえなくなります。

### 5 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

# 音声多重放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声の切り換え

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声や副音声だけを聞くことができます。

## 1 設定画面を表示させる

( 26 ページ)

## 2 [音声多重]画面にする

MENU ボタンを4回押す



## 3 好みの設定を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[MAIN] [SUB] [MAIN+SUB]の中から選ぶことができます。

[MAIN] 主音声(2カ国語放送の場合は日本語)だけを聞けます。

[SUB] 副音声(2カ国語放送の場合は外国語)だけを聞けます。

[MAIN+SUB] 主音声と副音声の両方を聞けます。

## 4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)

設定画面が消え、設定終了です。

### メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送を、音声多重放送といいます。

2カ国語放送では、一般に主音声を日本語、副音声を外国語で放送します。(逆になる場合もあります。)

# チャンネルの記憶を変更する

プリセットメモリー

ご利用の地域に合わせてチャンネルを記憶させたいときは、次の手順で設定をやり直してください。

## 1 設定画面を表示させる (P.26 ページ)

## 2 [プリセットメモリー]画面にする

MENU ボタンを5回押す  
[プリセットNo] が選択されています。



## 3 記憶させる番号を選ぶ

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
1~12の中から選びます。[ ]の中には、現在記憶されているチャンネルが表示されます。



## 4 [受信ch]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



## 5 記憶させたいチャンネルを受信する

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
1~62chを受信できます。

## 6 [決定]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



## 7 記憶させる

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
[ ]の中のチャンネル番号が、受信したチャンネル番号に変わります。



他にも記憶させたいチャンネルがある場合は、手順3~7の操作を繰り返してください。

## 4 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

# リアモニターを組み合わせる

リアモニター出力

RCAリアモニター出力に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。(詳しい接続のしかたは『取付説明書』)

## リアモニターに表示される映像について

リアモニターには、カーステレオのスピーカーから出力される音声に対応した映像(TVモニターのスピーカーの[入出力設定]画面の**音声出力**に何も表示されていないときは、DVDナビゲーションの映像)が表示されます。したがって、V.SELボタンで映像を切り換えても、リアモニターの映像は切り換わりません。(『カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ』34ページ、「見たい映像を表示させる」12ページ)

リアモニターを2画面表示に切り換えることはできません。DVDナビゲーションの映像をピクチャー サイド ピクチャーで表示させた場合、リアモニターの画面半分にDVDナビゲーションの映像が表示され、もう半分には何も表示されません。

リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューは表示されません。

リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

リアモニターで表示されるナビゲーションの映像は、コンポジット信号の映像になります。RGB信号の映像を見ることはできません。

ナビゲーションの映像は、ワイド映像(16:9)のままリアモニターに出力されます。リアモニターとして通常のモニター(4:3)をお使いの場合は、映像の左右が縮小された状態で表示されます。



本機の16:9の映像



4:3のリアモニターの映像

### 安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。

## メモ

映像を出力するために使われる信号形式には、RGB信号とコンポジット信号の2通りがあります。

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。

RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、通常RGB信号を使用しています。(コンポジット信号よりも鮮明に映像を表示できます。)

# リアモニターに映像を表示する

リアモニター出力

リアモニターには、「音声出力の設定」(P.34ページ)に合わせた映像が表示されます。

## 1 ナビゲーション側を「TVモード」にする

DVDナビゲーション側の操作モード切り換えスイッチを「TV」にします。(P.34 DVDナビゲーションの取扱説明書)

## 2 ナビゲーションのリモコンの [SOURCE] ボタンを押す

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力される設定になります。



「テレビ」と約8秒間表示されます。

## 3 設定画面を表示させる (P.26ページ)

## 4 [入出力設定]画面にする

MENU ボタンを2回押す  
[VTR]設定が選択されています。



## 5 [音声出力]を選ぶ

VOL(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



## 6 リアモニターの画面を切り換える

CH(◀/▶)ボタンを押す(TVモニター)  
SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)  
[TV]、[GUIDE]、[VTR]の中から選ぶことができます。

[TV] テレビの映像

[VTR] ビデオの映像

[GUIDE] DVDナビゲーションの映像

## 7 設定を終了する

BAND ボタンを押す(リモコン)  
設定画面が消え、設定終了です。

設定MENU・入出力設定の[VTR設定]  
(P.33ページ)をONにしていない場合、ビデオの映像は切り換わりません。

# TV モニターの正しい使いかた

## 取り扱い上のご注意

TVモニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておく、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

## 液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

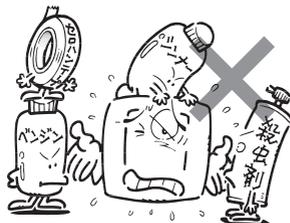
## お手入れについて

画面に付いたホコリやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



## 小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？  
と思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。

チェックしても  
直らないときは  
本機をリセットしてくだ  
さい。(P. 44ページ)

それでも  
直らないときは  
保証書とアフターサービ  
ス(P. 45ページ)をお読  
みになり、修理を依頼  
してください。

## 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(P. 『取付説明書』)
	システム切り換えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り換えて、リセットボタンを押してください。(P. 『取付説明書』)
	DVDあり：DVDナビゲーションの電源が入っていない。	DVDナビゲーションの電源が入っていないと本機は動作しません。DVDナビゲーションの電源を入れてください。(P. DVDナビゲーションの説明書)
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	ナビゲーションの電源が入っていない。	ナビゲーションの電源を入れてください。(P. ナビゲーションの説明書)
	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り換わっていない。	DVDあり：TVモニターの映像をナビゲーション“NAVI”に切り換えてください。(P. 12ページ) DVDなし：RCAビデオ入力にナビゲーションを接続した場合は、TVモニターの映像をビデオ“VTR”に切り換えてください。(P. 13ページ)
内蔵スピーカーの音が出ない。	内蔵スピーカーが“OFF”に設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。(P. 14ページ)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。	FMトランスミッターの設定が“OFF”になっている。	設定を切り換えてください。(P. 31ページ)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。(P. FM付きカーステレオの説明書)
映像と音声が出ない。	映像と音声で別々のものを選んでる。	映像、内蔵スピーカーの音声、カーステレオのスピーカーの音声をそれぞれ合わせてください。(P. 12、14、34ページ)
DVDあり：カーステレオのスピーカーの音声を切り換えられない。	設定MENU・入出力設定の[音声出力]の表示が切り換わっていない。	DVDナビゲーションの音声ソースが“テレビ”になっていません。音声ソースを“テレビ”に切り換えてください。(P. DVDナビゲーションの説明書)
DVDあり：ナビゲーションの音声案内が出力されない。	音声案内が出力されない設定になっている。	出力される設定に切り換えてください。(P. 14、35ページ)

## モニター

症 状	原 因	処 置
DVDあり：映像が映らない。	映像が“OFF”になっている。	映像を“ON”に切り換えてください。 (☞ 12ページ)
映像が明るい。 または暗い。	[黒の濃さ]の調整が適切でない。	[黒の濃さ]を調整してください。(☞ 28ページ)
	[コントラスト]の調整が適切でない。	[コントラスト]を調整してください。(☞ 28ページ)
液晶画面が暗い。	[明るさ]の調整が適切でない。	[明るさ]を調整してください。(☞ 30ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合がありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
映像の色がうすい。 または濃い。	[色の濃さ]の調整が適切でない。	[色の濃さ]を調整してください。(☞ 29ページ)
テレビの映像の色あいがおかしい。	[色あい]の調整が適切でない。	[色あい]を調整してください。(☞ 29ページ)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	----

## テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 (☞ 20ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 (☞ 20ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけはなしてください。(☞ 『取付説明書』)

# リセットについて

## リセットボタンについて

リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶 (FM トランスミッターの設定や記憶させたチャンネルなど) が消去されますので、もう一度セットし直してください。

## リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターとTVチューナーの両方をお持ち込みください。

# 仕様

## TV チューナー

受信チャンネル	: VHF 1 ~ 12 ch、 UHF 13 ~ 62 ch
実用感度	: 6 dB $\mu$ (75、 モノラル音声)
映像S/N	: 40 dB以上 (59 dB $\mu$ 入力 白100%)
映像雑音制限感度	: 40 dB $\mu$
クロストーク	: 主 副 35 dB以上 副 主 40 dB以上
S/N	: 60 dB (IHF-Aネットワーク)
ステレオ	
セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像	
入力レベル	: 1 V <sub>p-p</sub> /75
外部音声	
最大入力レベル	: 1 V/22 k
映像出力	
インピーダンス	: 1 V <sub>p-p</sub> /75
外部音声	
最大出力レベル	: 1 V/1 k
アンテナ入力	: 4 ch ダイバーシティ
FMトランスミッター使用周波数	: 76.4 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz間隔で可変)

## TV モニター

画面サイズ	: 8インチワイド (有効表示 面積、102 x 178 mm)
画素数	: 336,960画素 (234 x 1,440)
方式	: TFT アクティブマトリクス 方式、透過型
エッジライト	: 冷陰極コノ字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
内蔵スピーカー	: 36 mm

## TV アンテナ

出力端子	: 3.5ミニプラグ x 4
アンテナケーブル長	: 6.0 m

## 共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 2.0 A

## 外形寸法

TVチューナー	: 184 (W) x 173 (H) x 30 (D) mm
TVモニター	: 222 (W) x 134 (H) x 35 (D) mm
TVアンテナ	: 30 (W) x 202 (H) x 28 (D) mm (収納時、アンテナベース含む)
リモコン	: 40 (W) x 92 (H) x 6 (D) mm

## 質量

TVチューナー	: 1150g(コード含む)
TVモニター	: 560 g
TVアンテナ	: 270 g (コード含む、片側)
リモコン	: 20 g (電池含む)

## 付属品

コード類	: 1式
取付金具類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	: 1

## メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。



## お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

### カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。  
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内  
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00C00F0F01 > < CRA2994-A >